

AXIES 部会活動状況報告

(2018 年度報告)

番号	部 会	説 明 者
1	CIO 部会	主査：北野
2	IT ベンチマーキング部会	主査：岡田
3	情報教育部会	部会：布施
4	オープンソース技術部会	主査：柴山
5	学術・教育コンテンツ共有流通部会	主査：山田
6	ソフトウェアライセンス部会	部会：藤村、主査：丹羽
7	認証連携部会	主査：松平
8	クラウド部会	主査：西村
9	ICT 利活用調査部会	主査：重田
10	教育技術開発部会	主査：常盤
11	高品質・セキュリティ部会	部会：長谷川
12	研究データマネジメント部会	主査：青木

CIO部会 活動報告

AXIES 大学ICT推進協議会

活動目的

会員校のCIOの相互交流・相互研修を中心に次の活動を行う。

- ・各大学の抱える共通課題やベストプラクティスを学ぶ。
- ・CIOのリーダーシップ養成を行う。

AXIES 大学ICT推進協議会

体制・構成員

- ・ 担当理事: 北野正雄(京都大学)
- ・ 主 査: 北野正雄(京都大学)
- ・ 構成員: 各正会員のCIO 又は
CIOの代理として登録された者

AXIES 大学ICT推進協議会

2017年度の活動内容

- ・ 総会の日と年次大会期間中に部会会議開催(2回)
- ・ CIO向け講演会の実施
2017年5月18日
「デジタルに移行する米国の大学教育」
— MOOCのその後、大学教科書問題、高等教育のアンバンドリング」
船守 美穂 准教授(国立情報学研究所)
- 2017年12月14日
「なぜITが重要なのか: 大学における技術投資の事例」
Prof Jack Suess (メリーランド大学副学長・CIO/
EDUCAUSE 理事)

AXIES 大学ICT推進協議会

2018年度の活動計画

- ・ 部会会議の開催(2回: 5月総会時・年次大会時)
- ・ 年次大会でのセッション企画
- ・ CIO向け講演会, セミナーの実施

AXIES 大学ICT推進協議会

今後の課題

「CIOとCISOの役割分担と責任の明確化」

(背景・最近の取組み)

- ・ 国際的に情報セキュリティの脅威が増大しつつある。
- ・ 文部科学省では、毎年2月ごろにCISO等を対象とした次のような会議やセミナーを開催して、大学への注意喚起や支援を行っている。
「国立大学法人等最高情報セキュリティ責任者会議」
「情報セキュリティセミナー」
- ・ 大学でもクラウドの導入が進められつつある。
- ・ 大学によっては、CIOとCISOを同一人物が兼ねることがあるが、本来は別の役割である。

AXIES 大学ICT推進協議会

ITベンチマーキング部会 活動報告

AXIES 大学ICT推進協議会

部会の目的

- EDUCAUSE のコアデータサービスの調査票の翻訳、および日本の制度に合わせて調査項目の見直しを行う。
- 日本の高等教育機関向けのベンチマークを作成し、これを参考にして、適切なIT投資を行い、教育・研究・管理・運営・経営に必要な指標を作成することを目標に議論を行う。

AXIES 大学ICT推進協議会

体制・構成員

- 担当理事: 森原 一郎 (大阪大学)
- 主 査: 岡田 義広 (九州大学)
- 副 査: 森村 吉貴 (京都大学)
- 構成員: 正会員、賛助会員から希望または推薦された者

AXIES 大学ICT推進協議会

2017年度の活動計画

- ① 部会員の募集
- ② 副査および運営委員の選定および委嘱
- ③ 既存調査事業の回答データをAXIES加盟大学から収集し、ITベンチマーキング部会で集計分析し、AXIES加盟大学間で共有できる枠組みについて実施を図る。
- ④ 年次大会における企画セッションの実施により、③についての状況報告と議論をする。ITベンチマーキングの意義とその評価項目等についても議論する。
- ⑤ ITベンチマーキングに係わる講演会の実施により、ITベンチマーキングの意義について啓蒙するとともに、③の実施結果について報告する。

AXIES 大学ICT推進協議会

2017年度の活動内容

- 年次大会・企画セッションにおいて、既存の学術情報基盤実態調査やEducauseのコアデータサービスの内容等について整理し、ITベンチマーキング部会の今後の活動方針と活動内容(IT調査)について議論・報告を行った。
- 今年度は特に、Educauseのコアデータサービスの2017 Top 10 Issuesに基づき、阪大・京大・東大・九大におけるICT戦略に係る取り組みについて報告を行った。他大学の参考になったと思われる。

AXIES 大学ICT推進協議会

2018年度の活動計画

- ① 部会員の募集
- ② 運営委員の選定および委嘱
- ③ 既存調査事業の回答データをAXIES加盟大学から収集し、ITベンチマーキング部会で集計分析し、AXIES加盟大学間で共有できる枠組みについて実施を図る。
- ④ ITベンチマーキングの活用状況とEducause Core Data ServiceのTop 10 Issuesに関する状況調査のためCIO部会メンバーにアンケート調査を実施する。
- ⑤ 年次大会における企画セッションの実施により、③と④についての状況報告と議論をする。ITベンチマーキングの意義とその評価項目等についても議論する。
- ⑥ ITベンチマーキングに係わる講演会の実施により、ITベンチマーキングの意義について啓蒙するとともに、③と④の実施結果について報告する

AXIES 大学ICT推進協議会

情報教育部会 2017年度 活動報告

AXIES 大学ICT推進協議会

情報教育部会:活動目的

本部会では、情報教育等について、

- 国内の状況を調査・集約するとともに、
- ネットワークセキュリティ確保のための適切な情報倫理教育のコンテンツの調査、研究、整備を行う。

AXIES 大学ICT推進協議会

情報教育部会:2017年度体制

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| • 担当理事:
鈴木陽一(東北大学) | • 運営委員:
静谷啓樹(東北大学) |
| • 主査:
喜多 一(京都大学) | 西野和典(九州工業大学) |
| • 副査:
布施泉(北海道大学) | 和田智仁(鹿屋体育大学) |
| | 萩谷昌己(東京大学) |
| | 香山瑞恵(信州大学) |
| | 西端律子(畿央大学) |

AXIES 大学ICT推進協議会

情報教育部会:2017年度の活動内容

- 年次大会での企画セッションの実施
 - 「ワークショップ:情報倫理ビデオ教材の新版開発にむけて」
- シンポジウム「これからの大学の情報教育」の開催
 - 情報処理学会一般情報教育委員会と連携してAXIES 2017に連続する日程で2017年12月16日に開催
- 情報倫理デジタルビデオフォローアップと改訂準備
 - ビデオの多言語翻訳
 - 年次大会企画セッションほか各種イベントでの意見交換

AXIES 大学ICT推進協議会

情報教育部会:2018年度の活動計画

- 2017年度の体制を継続して活動し、今後の体制を検討
- 情報倫理ビデオの改訂(第7版開発)
- シンポジウム「これからの大学の情報教育(第3回)(仮称)」の開催
 - AXIES 年次大会に接続した日程で現場の教員が参加しやすい日曜日(11月18日)を候補に情報教育に関するシンポジウムを開催
 - 情報処理学会一般情報教育委員会と共催
- 情報教育教材発表会の開催
 - 各大学で作成している公開可能教材を公募、表彰を行う
- 部会運営委員会、情報倫理ビデオTFの開催

AXIES 大学ICT推進協議会

オープンソース技術部会 活動報告

AXIES 大学ICT推進協議会

活動目的

会員各組織内でオープンソースソフトウェア(OSS)を活用するために、OSSの利用実態調査を行い、OSS活用に必要な技術を修得すべく合同研修、共同開発、標準化を行う。

AXIES 大学ICT推進協議会

体制・構成員(2017年度)

- 担当理事: 吉田和幸(大分大学)
- 主査: 柴山悦哉(東京大学)
- サブグループ
 - Moodle 代表: 大西淑雅(九州工業大学)
 - Sakai 代表: 藤井聡一郎(法政大学)
- 運営委員, 協力員: 計約20名

AXIES 大学ICT推進協議会

活動方針

- OSSのうち, 高等教育機関に特有のもの(LMSなど)に特に注力する
- 個々のOSSのユーザコミュニティと連携しつつ, 個々のOSSを超えた統合利用等を推進する
- 将来展望の共有を図る

AXIES 大学ICT推進協議会

2017年度の活動内容

- Moodle 情報交換会(7月)
- IMS LTI & Caliper ハッカソン(8月)
- AXIES年次大会企画セッション(12月)
 - 教育サービスの機能拡張のためのツール統合とプラグイン
 - 次世代電子学習環境(NGDLE)と国際標準化 [学術・教育コンテンツ共有流通部会及び教育技術開発部会との合同開催]
- Moodle 情報交換会(1月)
- Ja Sakai/AXIES/IMS合同カンファレンス(3月)

AXIES 大学ICT推進協議会

2018年度の活動計画

- 運営体制の見直し(6月)
- Moodle 情報交換会(7月)
- IMS LTI & Caliper ハッカソン(8月)
- AXIES年次大会企画セッション(11月)
 - 単独開催1件+合同開催1件程度
- Moodle プラグイン作成ワークショップ
- Ja Sakai カンファレンス(2~3月)

AXIES 大学ICT推進協議会

AXIES 総会
2018/5/17

部会のご紹介

学術・教育コンテンツ共有流通部会

大学ICT推進協議会 (AXIES)

部会について

(学術・教育コンテンツ共有流通部会)

目的

「本部会では、大学等において開発蓄積された、学術・教育コンテンツの共有・流通・再利用・標準化を促進し、日本の大学の学術と教育の振興を図る。」(理事会)

事業計画の方向性

- ・当初：さまざまな機関や団体で行われてきた活動や実践の情報や知見、問題点や解決方法の収集・共有
- ・2013-：会員機関で協働可能なプロジェクトの立ち上げ (部会内タスクフォース)

活動の方向性

- ✓ 学術・教育コンテンツの共有再利用・流通・電子出版のあり方に関する情報交換・意見集約の場
- ✓ メディアの融合、教育・学習の変容、サービスの多様化、持続可能な新たなビジネスモデルなどを想定し、次世代の社会インフラ・システムをめざした、大きな枠組みでの議論
- ✓ 産官学による新たな連携の在り方を検討し、高等教育における将来ビジョンを共同構築・共有
- ✓ 海外の類似の団体や、国際標準化団体との情報共有・意見交換

オープン化： OSS+O.Content+O.Data
次世代電子学習環境 (NGDLE)：パーソナル学習が目標
⇒ 学習解析 (Learning Analytics) との連携

部会メンバー

役職	氏名	所属
担当理事	大野 高裕	早稲田大学・理事
主査	山田 恒夫	放送大学・教養学部・教授
副査	逸村 裕	筑波大学大学院・教授
運営委員		
	重田 勝介	北海道大学・情報基盤センター・准教授
	中野美知子	早稲田大学・遠隔教育センター・教授
	林 敏浩	香川大学図書館・情報機構総合情報センター・教授
	山地 一禎	国立情報学研究所・教授
	元木 環	京都大学・学術情報メディアセンター・助教
	山口真之介	九州工業大学情報工学部・助教
	隅谷 孝洋	広島大学・准教授
	上田 浩	京都大学・学術情報メディアセンター・准教授

※ 運営委員募集中/次回部会定例会議で承認予定

2017年度事業の概要

8月 23日 (木)	第1回部会研究会「IMSワークショップ」(東京・日本教 育会館、主催：日本IMS協会、IMS GLC)を共催
10月 26日 (木)	第2回部会研究会「学習解析と教育情報ビッグデータ分 析：次世代電子学習環境の核心」(東京@お茶の水ソラシ ティ、eラーニングアワードフォーラム2017)
12月 13日 (水)	AXIES年次大会 (広島大学、場所：広島国際会議場) 部会企画セッション
15日 (金)	WB1: 著作権法がまだ変わってない! LMSによる教材の公 衆送信と補償金 part2【担当運営委員：隅谷孝洋 (広島大 学)】 FA1: 次世代電子学習環境 (NGDLE) と国際標準化：わ が国における最新動向 (オープンソース技術部会/教育 技術開発部会と共催)【担当運営委員：放送大・山田】 FD2: これからの公開教育・公開教育資源を考える (JOCW/JMOOC後援)【担当運営委員：放送大・山田】

2018年度事業 (案)：研究会等

月日	事業内容
2018年	
6月	第1回部会研究会 (東京)【内容未定】
8月	第2回部会研究会 (首都圏)【e-Learning国際標準化関連】 (IMS-JS、JMOOC等との共催を予定)
9月	第3回部会研究会 (東京)【ラーニングアナリティクス (LA)関 連】
10月	AXIES年次大会企画セッション・部会定例会議 (札幌)
11月	第3回部会研究会 (東京・e-Learning Awardフォーラム)【電子 出版・図書館企画、テーマ未定】
2017年	
1-2月	第4回部会研究会 (場所未定)【テーマ未定】

未定：著作権改正、LAポリシーに関する研究会を開催予定

2018年度事業（案）：部会内TF

- ① 次世代メタデータ検索・リポジトリ連携TF
 - ①-2 博物館等における研究資源アーカイビング事業とのメタデータ相互利用TF
 - ② MOC/SPOC/電子教科書プラットフォームTF（学習解析等を活用したパーソナル学習過程の最適化）
 - ③ LAポリシーTF（モデル策定）
 - ④ NGDLE国際標準化TF（IMS-GLC/IMS-JS等との連携）
 - ⑤ 大学等における教材開発・利用時の著作権対応に関する共通指針TF（著作権改正問題フォローアップ）
 - ⑥ 映像コンテンツ開発再利用支援システムTF
- ③等、他部会（OSS, EdTech部会等）との連携も視野

ソフトウェアライセンス部会 活動報告

AXIES 大学ICT推進協議会

活動目的

- 大学においてソフトウェアライセンスを安価に契約できる体制の構築
- 各大学におけるソフトウェアライセンスの締結・管理・利用・課題について調査・検討し、会員間で情報共有
- ソフトウェアベンダとの交渉やソフトウェアライセンス管理システムの共同開発

AXIES 大学ICT推進協議会

体制・構成員

- 担当理事: 中村 修(慶應義塾大学)
- 主 査: 丹羽 量久(長崎大学)
- 構成員: 正会員、賛助会員から希望または推薦されたもの者

AXIES 大学ICT推進協議会

2017年度の活動内容

- マイクロソフトと包括契約(EES)などに関する契約の推進
 - 契約見直しにともなう再調整を実施
- ウイルス対策ソフト
 - 包括契約の対象を Trend Micro社に変更
 - その他の包括契約の検討
- 年次大会で企画セッションを開催
 - 上記包括契約に関する情報提供

AXIES 大学ICT推進協議会

2018年度の活動計画

- 引き続き正会員、賛助会員から部会員募集
- ウイルス対策ソフトの包括契約の調整・推進
- 年次大会でのセッション企画
- 部会会議の開催(遠隔会議を活用)
- 大学で使用するソフトウェアライセンスのあり方に関する検討

AXIES 大学ICT推進協議会

認証連携部会 活動報告

AXIES 大学ICT推進協議会

活動目的

- 認証連携に関する普及啓発活動
 - NIIが中心となり推進している「学認」をはじめ、認証連携に係る様々な技術・サービス等の利用拡大に向けた取り組みを行う
- 認証連携の在り方についての議論
 - 学認やクラウドサービス等の普及により認証連携の多様化・広域化が進む中で、各大学における認証基盤をどのように整備していくかを含めた統括的な議論を行う

AXIES 大学ICT推進協議会

体制・構成員

- 担当理事： 漆谷重雄(国立情報学研究所)
- 主査： 松平拓也(金沢大学)
- 副査： 永井孝幸(京都工芸繊維大学)
細川達己(慶應義塾大学)
- 運営委員： 中村素典(国立情報学研究所)
五十嵐一浩(成城大学)
河野圭太(岡山大学)
江川淳一(エクスジェン・ネットワークス株式会社)
中田寿穂(日本マイクロソフト株式会社)
山下克美(ファルコンシステムコンサルティング株式会社)
- 構成員： 正会員22名、賛助会員7名

AXIES 大学ICT推進協議会

2017年度の活動内容

- JAPAN IDENTITY & CLOUD SUMMIT 2017を開催(協賛企業と連携)
 - Identityにおける様々な技術について議論
- 年次大会企画セッションの開催
 - 認証システムの利用対象者拡張: 在学生・在職教職員を越えて
 - 大学における活動が広がり、在学生・在職教職員を利用対象者とした旧来の認証システムでの対応が困難であることが顕在化
 - 利用対象者の拡張事例やそれに関わる諸問題、拡張される利用対象者に適した認証方式などについて議論
- 部会の開催(12月)
 - 次年度の認証連携部会の体制について議論
 - 2017年度の活動内容について報告
 - 2018年度の活動計画について議論

AXIES 大学ICT推進協議会

2018年度の活動計画

- 6月
 - 第1回部会の開催
 - NII学術情報基盤オープンフォーラム2018にて
 - 学認運用作業部会&認証連携部会の意見交換会を開催
 - 学認関係セッションの開催
- 12月
 - 年次大会企画セッションの開催
 - 第2回部会の開催
- 時期未定
 - AXIES認証連携部会主催のイベントを開催

AXIES 大学ICT推進協議会

クラウド部会 2017年度活動報告と 2018年度活動計画

担当理事: 棟朝 雅晴 (北海道大学)
主査: 西村 浩二 (広島大学)
副査: 梶田 将司 (京都大学)
滝島 繁則 (さくらインターネット株式会社)

AXIES 大学ICT推進協議会 クラウド部会

クラウド部会の目的・体制

「大学が保有するプライベートクラウドシステムやクラウドサービス事業者が提供するパブリッククラウドシステムの利用に関するベストプラクティスの共有や、新しいクラウド型サービスの共同開発・共同運用に関する議論と実装を行う。」

担当理事: 棟朝 雅晴 (北海道大学)
主査: 西村 浩二 (広島大学)
副査: 梶田 将司 (京都大学)、
滝島 繁則 (さくらインターネット株式会社)

AXIES 大学ICT推進協議会 クラウド部会

2017年度活動実績

- クラウド部会会合・企画セッションの開催
 - 第17回: 9月5日(火) @北海道大学(学術交流会館)
 - CloudWeek2017@Hokkaido University(9/5~7)会場にて
 - アカデミックインタークラウドシンポジウム2017と共催
 - 第18回: 12月14日(木) @広島国際会議場
 - AXIES2017年次大会(12/13~15)会場にて
 - クラウドソリューションカタログの発行・配布
- クラウド調達・導入における技術的課題の整理・解決策の共有
- 第19回: 3月9日(金) @広島大学(東千田未来創生センター)
 - 大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2018会場にて
 - より調達・導入等の実務に近い場面を想定した情報共有や議論
- クラウド共同調達・共同利用・システム構築の検討

AXIES 大学ICT推進協議会 クラウド部会

「クラウドソリューションカタログ2017」の編集

- これからクラウド活用を始めようとする組織等にとって、膨大なソリューションから自らに適したソリューションを選択するためには何らかの基準が必要
- 先行する組織等の知見に基づき、利用条件やセキュリティに関する留意すべきポイントを抽出・整理
- 出発点として、どのようなソリューションがあるのかをカタログ形式でわかりやすく提示
- ISMSクラウドセキュリティ認証取得(広島大学)の際の根拠資料として活用し、クラウドサービスの選定・評価に有効であることを実証



AXIES 大学ICT推進協議会 クラウド部会

今後の活動方針

- 「クラウド活用」をテーマとした諸活動との位置付けの明確化と連携強化
 - 「CloudWeek@Hokkaido University(北海道大学)」
 - 「大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム(広島大学)」
 - 「教育・研究に関わるクラウド技術の話題」
 - 「クラウドサービス導入に関わるより実務的な話題」
 - 「クラウドソリューションカタログ(クラウド部会)」
 - 「学認クラウド 導入支援サービス チェックリスト(NII)」
 - 「クラウドサービス利用ガイドライン・チェックリスト(広島大学)」
 - 「クラウドサービスの情報の整理」
 - 「クラウド利用者の利用条件の整理」
 - 「クラウド活用度調査(NII&広島大学)」
 - 「調査会社(IDC Japan(株))目録(NII)」
 - 「大学目録(広島大学)」
- これらの活動の特徴を生かしつつ、連携を強化することで、AXIES正会員、賛助会員に資する活動を推進

AXIES 大学ICT推進協議会 クラウド部会

2018年度活動計画

- クラウド部会会合・企画セッション開催予定
 - 6月20日(水)~21日(木): NIIオープンフォーラム(NII)
 - 9月3日(月)~5日(水): CloudWeek2018@Hokkaido University(北海道大学)
 - 11月19日(月)~21日(水): AXIES2018年次大会(札幌コンベンションセンター)
 - 3月8日(金): 大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2019(広島大学)
- クラウドソリューションカタログの発行・配布
 - 今年度からは電子データで発行・配布予定
- クラウド調達・導入における課題の整理・解決策の共有
- クラウド共同調達・共同利用・システム構築の検討

AXIES 大学ICT推進協議会 クラウド部会

ICT利活用調査部会 2017年度 活動報告

AXIES 大学ICT推進協議会

活動目的

- ・ 高等教育機関におけるICT利活用の重要性
 - 大学教育の質向上やスケーラビリティの確保
 - 多様な学び手に対する学習機会の提供手段
- ・ ICT利活用の実態把握が不可欠
 - エビデンスに基づいた利活用の未来像提示
- ・ 国内外におけるICT活用教育の調査を実施
 - 過去の類似調査による蓄積と成果を引き継ぐ

AXIES 大学ICT推進協議会

体制・構成員

- ・ 担当理事： 横矢直和（奈良先端科学技術大学院大学）
- ・ 主査： 重田勝介（北海道大学）
- ・ 構成員： 酒井博之（京都大学）
辻靖彦（放送大学）
稲葉利江子（津田塾大学）
平岡齊士（熊本大学）

AXIES 大学ICT推進協議会

2017年度の活動状況

	事業内容
2017年 4月～7月	高等教育機関におけるBYODを活用した教育改善に関する調査結果の分析
2017年8月 ～	高等教育機関におけるBYODを活用した教育改善に関する調査研究の報告書作成
2018年2月	高等教育機関におけるICTの利活用に関する調査研究の調査準備
2017年12月	高等教育機関におけるICTの利活用に関する調査の開始 AXIES年次大会におけるBYODを活用した教育改善に関する調査結果の最終報告
2018年 1月～3月	高等教育機関におけるBYODを活用した教育改善に関する調査結果の公開

2016年度に実施した「高等教育機関におけるBYODを活用した教育改善に関する調査」の最終結果をAXIES年次大会で報告するとともに、報告書を刊行し、公開。国内の高等教育機関等におけるICTの利活用に関する調査を実施。

AXIES 大学ICT推進協議会

2016年度調査 報告書の公開

- ・ 「BYODを活用した教育改善に関する調査研究」
- ・ AXIES HPで公開
 - <https://axies.jp/ja/ict>
- ・ 過去調査の一覧も掲載



AXIES 大学ICT推進協議会

2016年度の調査

- ・ BYODを活用した教育改善に関する調査研究
 - BYODを活用した教育改善についての我が国及び諸外国における先進的な取組の実施方法や実施体制等を分析・研究することにより、高等教育の質の向上等への活用方策について検討することを目的とする
- ・ BYODに関わる調査項目
 - 取り組み状況
 - 組織戦略
 - 教育学習
 - 支援体制、インフラ整備(必携化実施による違い)

AXIES 大学ICT推進協議会

回答率

設置区分	調査対象校	有効回答数	回収率
4年制大学	787	490	62.3%
国立	86	69	80.2%
公立	89	57	64.0%
私立	612	364	59.5%
短期大学	360	183	50.8%
高等専門学校	57	40	70.2%
合計	1204	713	59.2%

AXIES 大学ICT推進協議会

PC端末の設置



モバイル端末用インターネット回線の設置



機関所有のモバイル端末を貸出



機関が指定したモバイル端末を学生が持ち込み



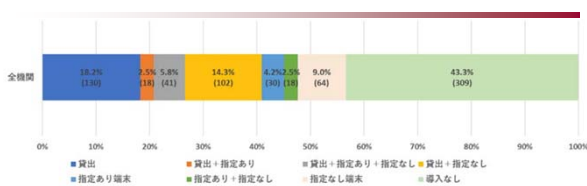
機関が指定していないモバイル端末を学生が持ち込み



0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

■大学 (n=183) ■高等専門学校 (n=40)

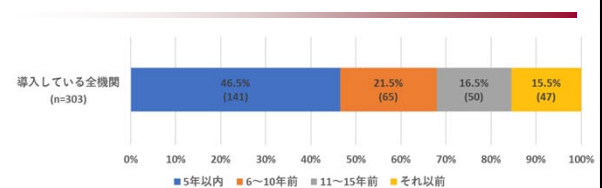
BYODの導入形態の分類



- 「貸出のみ」が2割弱
- 「貸出+指定なし」が続けて多い
- 「導入なし」が4割強

AXIES 大学ICT推進協議会

BYODの導入時期

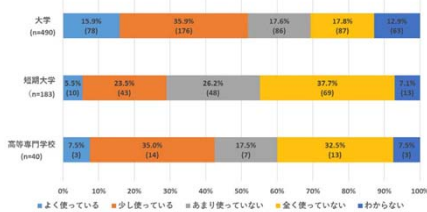


- 5年以内が5割弱
- 10年以内を含めると7割弱
- 新しい取り組みであることがわかる

AXIES 大学ICT推進協議会

教育学習への利用

- 大学では半数を超える機関でモバイル端末を利用



AXIES 大学ICT推進協議会

「高等教育機関等におけるICT活用教育の推進に関する調査研究」


- 高等教育機関等におけるICTの利活用状況について調査を実施した
 - 組織戦略
 - オープンエデュケーション
 - ICT活用教育実施状況
 - ICT活用教育の利点・欠点
 - 学内の支援体制
- 2018年度に報告書を公開予定

AXIES 大学ICT推進協議会

2018年度 活動計画

時 期	活 動 内 容
2018年 4月～7月	高等教育機関におけるICTの利活用に関する調査結果の分析
2018年 8月～11月	高等教育機関におけるICTの利活用に関する報告書作成
2018年 11月～12月	高等教育機関におけるICTの利活用に関する調査結果の公開 AXIES年次大会における調査結果の最終報告
2018年12月 ～2019年3月	来年度の調査実施に向けた準備作業の実施

AXIES 大学ICT推進協議会



2018年度
通常総会

教育技術開発部会 (EdTech部会) 活動報告および計画


2018年 5月 17日
常盤 祐司 (部会主査、法政大学)
yuji.tokiwa.dc@hosei.ac.jp



Contents

- 趣旨
- 運営
- 2017年度 活動実績
- 2018年度 活動計画

1



趣旨

教育技術開発部会では、新しいテクノロジーおよび標準を、教育の場で利用するために、**企業と大学が一丸となってそれらを用いた教育手法・技術を共同で開発し**、大学におけるそれらの実践的な利活用のあり方を提案する。提案に際しては企業がテクノロジーを紹介し、大学が教育の場での利用方法を説明するなど、単なる製品の紹介にとどまらない産学共同提案を義務付ける。


2



運営委員会(2018年度)

	氏名	所属	備考
担当理事	TBD	TBD	大学
主査	常盤 祐司	法政大学	大学
副査	山形 裕之	ソニービジネスソリューション株式会社	企業
運営委員	喜多 一	京都大学	大学
運営委員	武田 考正	株式会社内田洋行	企業
運営委員	深澤 良彰	早稲田大学	大学
運営委員	山村 貴秀	富士ゼロックス株式会社	企業

3




2017年度活動計画レビュー

- 2017.7.3 運営委員会/研究会 (富士ゼロックス様/東京)
- 2017.10.2 運営委員会/研究会 (内田洋行様/大阪)
- 2017.12.15 AXIES年次大会(広島) 企画セッション
- 2018.2.28 Ja Sakai/AXIES/IMS 合同カンファレンス (名古屋大学様/名古屋)

計画通り開催した

4



第5回研究会 プログラム

- 13:00 研究会の進め方
山形 裕之 (部会副主査、ソニービジネスソリューション株式会社)
- 13:20 大学情報基盤更新とITベンダーとの関わり方
松尾 啓志 (名古屋工業大学) テーマ
「手書きを活かした教育」
を支えるテクノロジー
- 14:00 研究セッション1
手書きを活用した教育とそれを支えるデジタル化技術
佐藤 悦志 (富士ゼロックス株式会社 ソフトウェア開発本部)
- 14:45 休憩
- 15:15 研究セッション2
グループ学修支援システム『Acolla』
卓野 厚生(パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社)
- 16:00 研究セッション3
進化を遂げたデジタルペーパーによる手書きを中心とした
教育研究環境の可能性
萩原 恒 (ソニービジネスソリューション株式会社)
飯田 淳司 (ソニーイメージングプロダクツ&ソリューション株式会社)
大石 貴之 (ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社)
喜多 一 (京都大学)

5

第6回研究会 プログラム

13:00	研究会の進め方 山形 裕之 (部会副主査、ソニービジネスソリューション株式会社)	
13:20	LMS最新情報 梶田 将司 (京都大学)	テーマ 学習基盤としてのLMS
14:00	Moodle 大西 淑雅 (九州工業大学)	
14:45	休憩	
15:15	BlackBoard 岩沢 哲之 (アシストマイクロ株式会社)	
16:00	Sakai & etc 常盤 祐司 (法政大学)	
16:45	まとめ	

Ja Sakai/AXIES/IMS 合同カンファレンス 2018

13:00	開会	
13:10	招待講演 (同時通訳付) Standardization Project in Apereo and IMS Chuck Severance (University of Michigan, Apereo Foundation, IMS GLC)	
14:00	特別講演 (同時通訳付) Canvas - Open Core & NGDLE Compliant LMS Melissa Loble (VP, Professional Services and Partnerships)	OS技術部会 セッション
14:40	パネルディスカッション テーマ: 学習プラットフォームとしてのLMS モデレータ: 梶田将司(京都大学) パネリスト: OpenCEAS/宮崎誠(畿央大学)、Sakai:Chuck Severance, Canvas:Melissa Loble	
15:30	休憩	教育技術開発部会 セッション
15:40	パネルディスカッション テーマ: 学びの質を高める支援ツール モデレータ: 山形裕之 (ソニービジネスソリューション株式会社) パネリスト: 出口大輔(名古屋大学)、上之園和宏 (青山学院大学)、常盤祐司(法政大学)	
16:30	パネルディスカッション テーマ: IMS標準による日本版NGDLEの可能性と課題 モデレータ: 常盤祐司(法政大学) パネリスト: LTI:藤井聡一郎(法政大学)、Caliper:李 在範(ネットラーニング)、OneRoster:藤原茂雄(内田洋行)、Chuck Severance、Melissa Loble	
17:40	閉会	

参加状況

(参考) 研究会参加申込者

	第1回 (2016/3/3)	第2回 (2016/8/3)	第3回 (2016/10/25)	第4回 (2017/3/6)	第5回 (2017/7/3)	第6回 (2017/10/2)	合同 カンファレンス (2018/2/28)
テーマ	-	-	-	-	手書き	LMS	LMS/ 教育ツール/ IMS
申込 (大学/企業)	39 (9/30)	40 (8/32)	22 (8/14)	56 (19/37)	48 (6/42)	45 (23/22)	68 (34/34)

- ### 2018年度 活動計画
- 2017年度からの継続
 - 研究会
 - ・ テーマを設定
 - ・ 招待講演者がコメントを兼務
 - ・ 開催地: 関東(1)、関西(1)
 - ・ 発表持ち時間 45分 (発表: 20分、討論: 25分)
 - 年次大会
 - ・ 企業および大学による発表
 - 合同カンファレンス
 - ・ AXIES他部会、日本IMS協会、各コミュニティ等
 - 新規活動
 - プロジェクトインキュベーション (2017年度未達成)
 - ・ 複数機関による共同プロジェクトの企画、提案および実証実験

高品質・セキュリティICT部会 2017年度 活動報告

2016年6月 発足

AXIES 大学ICT推進協議会

1

高品質・セキュリティICT部会： 活動目的

- 本部会では、来たるべきIoT・第5世代無線時代におけるICTのあり方について、国内外の研究状況を調査・集約するとともに、国内研究者および技術開発者の議論の場を提供し、将来ICTの実現に向けた準備を行う。

AXIES 大学ICT推進協議会

2

高品質・セキュリティICT部会： 2017年度体制

- 担当理事：
伊藤義人
(名古屋大学/国立岐阜工業高等専門学校)
- 主査：
村瀬 勉(名古屋大学)
- 副査：
長谷川剛(大阪大学)
- 運営委員：
(幹事)小畑博靖(広島市立大学)
矢守恭子(朝日大/早大)
塩田茂雄(千葉大学)
関屋大雄(千葉大学)
計宇生(NII)
チリムゲ(電通大学)
新熊亮一(京都大学)
太田能(神戸大学)
。。。

AXIES 大学ICT推進協議会

3

高品質・セキュリティICT部会： 2017年度の活動

- 運営委員会を組織し、活動のコアとなるメンバーの確保
- 運営委員幹事会の開催(7月、9月、1月)
 - 部会の方向性の決定
 - 大学キャンパス内のネットワーク整備の状況を議論し、柔軟なネットワーク・端末運用が重要であることを確認
- 年次大会における活動(12月)
 - 企画セッションの開催
 - 一般セッションの座長、審査員
 - 将来構想検討WG
- 拡大運営委員会の開催(3月)
 - 運営委員とユーザ主導の無線ネットワーク制御技術やキャンパスネットワークへの応用について議論

AXIES 大学ICT推進協議会

4

年次大会の企画セッション

- キャンパスネットワークのSDN化の実例と課題
 - 講演者: 阿多信吾(大阪市立大学)
 - 聴衆: 約30名
 - 講演内容:
 - SDN技術を用いたキャンパスネットワーク運用の実例紹介
 - 運用における問題点
 - 得られたデータの研究への活用



AXIES 大学ICT推進協議会

5

高品質・セキュリティICT部会： 2018年度の活動計画

- 体制の刷新
 - 主査: 長谷川、副査: 村瀬、小畑
 - 運営委員会の充実
- 賛助会員企業との情報交換
 - 招待講演
- AXIES 年次大会での企画セッションの開催

AXIES 大学ICT推進協議会

6

研究データマネジメント部会 2017年度 活動報告

2017年6月 発足

AXIES 大学ICT推進協議会

1

研究データマネジメント部会： 活動目的

大学の研究者、情報基盤設計者、大学執行部、資金配分機関、オープンサイエンスを推進する研究コミュニティ等、多様なステークホルダからの情報収集、議論の場を設け、研究活動のライフサイクルに沿った、データの収集、生成、活用、保管と公開のためのICT基盤の在り方を提言する。

AXIES 大学ICT推進協議会

2

研究データマネジメント部会： 2017-18運営体制

担当理事：

相原玲二 (広島大学)

主査：

青木学聡(京都大学)

副査：

山地一禎(NII)、船守美穂(NII)、

梶田将司(京都大学)

部会員：

大学(基盤センター、図書館)、企業などを中心に十数名
(2018年5月現在)

AXIES 大学ICT推進協議会

3

研究データマネジメント部会： 2017年度活動

- 部会立ち上げ
- AXIES年次大会
企画セッション主催
「日本の研究データマネジメント
—方針策定と情報基盤開発に向けて」
基調講演(海外1件、国内1件)、活動報告(2件)
企画セッション共催
「研究・教育資源アーカイブ環境の構築と運用
— 課題共有とその組織的対応を考える」
パネル討論

AXIES 大学ICT推進協議会

4

研究データマネジメント部会： 2018年度活動計画

- 部会での情報交換
 - 第1回部会: 2018/6/20 (NIIオープンフォーラムに合わせて開催予定)
- AXIES年次大会企画セッション (2018/11/19-21 北海道大)
- AXIES外のコミュニティとの積極的な連携
 - 2018/6/20 NIIオープンフォーラム(東京都)
合同セッション:
「大学で研究データマネジメント情報基盤は立ち上がるのか？」
<https://www.nii.ac.jp/service/openforum2018/>
 - 2018/9/19,20 RA協議会年次大会(神戸市)
合同セッション
「私たちがオープンサイエンスを進めるためにすべきこと」
<http://www.rman.jp/meetings2018/>

AXIES 大学ICT推進協議会

5